



# 平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成18年8月17日

上場会社名 オリコン株式会社

(コード番号:4800 大証ヘラクレス)

(URL <http://www.oricon.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小池 恒  
責任者役職・氏名 執行役員経理本部長 秋元 孝之

(TEL: (03) 3405-5252)

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
- ③ 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

## 2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(千円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
19年3月期第1四半期	1,363,671	1.2	△28,436	—	△39,490	—	△84,702	—
18年3月期第1四半期	1,347,913	0.9	142,520	359.7	117,193	274.8	38,124	353.1
(参考) 18年3月期	5,693,662		612,298		590,204		272,828	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	△541	82	—	—
18年3月期第1四半期	245	50	239	55
(参考) 18年3月期	1,751	11	1,713	72

(注) 1. 期中平均株式数(連結) 平成19年3月期第1四半期 156,329株 平成18年3月期第1四半期 155,292株  
平成18年3月期 155,803株

- 2. 平成19年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。
- 3. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### (2) セグメント別の売上高内訳

(千円未満切捨て)

	19年3月期第1四半期		対前年同四半期増減率	18年3月期第1四半期		(参考)前連結会計年度		
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比	
データベース事業	122,013	9.0	18.9	102,602	7.6	442,906	7.8	
メディア事業	音楽ディストリビューション部門	374,853	27.5	△19.3	464,580	34.5	1,771,241	31.1
	雑誌・情報部門	370,838	27.2	△35.6	576,116	42.7	1,608,932	28.3
	WEB部門	244,593	17.9	19.5	204,614	15.2	1,288,304	22.6
	合計	990,284	72.6	△20.5	1,245,311	92.4	4,668,477	82.0
フランクリン・ミント事業	251,373	18.4	—	—	—	582,278	10.2	
合計	1,363,671	100.0	1.2	1,347,913	100.0	5,693,662	100.0	

## [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国の経済は、原油価格の高騰や金利上昇の懸念等による先行き不透明感があるものの、設備投資の拡大、企業収益の改善、個人消費の緩やかな増加等により、全体として回復基調で推移いたしました。

このような経済状況において、当社グループでは、「オリコン」ブランドを活かしたランキングビジネスの発展的展開を柱とする3カ年の中期経営計画を平成18年5月に策定しました。その初年度にあたる平成19年3月期においては、従来からの着信メロディを中心としたコンテンツプロバイドビジネスと比べ、より収益性が高く、中期的かつ継続的に成長可能な収益構造を構築し、当期中に業績へ寄与させるといった重要なテーマをもって臨んでいます。当第1四半期では、新たな収益構造の基盤作りに注力し、以下の主な成果を得ました。

### 1. WEB「ORICON STYLE」の成長と広告メディアとしての価値増大

#### (1) WEB「ORICON STYLE」来訪者700万人に

当第1四半期においては、WEB「ORICON STYLE」の拡充に特に注力し、収益の源泉となるユニークユーザーの獲得を目指しました。WEB編集チームを増強し、当社グループ独自の動画・音声番組の他、音楽ジャンルにとどまらない様々なランキング情報などコンテンツの充実を図りました。さらに、これらの情報を大手ポータルサイトなどへ提供することで、来訪者が急激に増加し、平成18年6月度の月間ユニークユーザー数が698万人に達しました（ネットレイティングス・サイトセンサス調べ）。平成18年3月度と比べ53.5%増、1年前と比べて4.2倍（ネットレイティングス・月間インターネット利用動向調査結果より算出）という驚異的な伸長率であり、さらに成長を続けています。

インターネット視聴率調査を行っているネットレイティングス株式会社は、平成18年7月24日付けレポート「2006年6月の月間インターネット利用動向調査結果」において、「ORICON STYLEは、先進的な試みを積極的に展開し、非常にユニークなサイトとして急成長を遂げています。700万人という数字は、他の総合ポータルサイトに匹敵する水準です。」と紹介しています。

#### (2) 広告メディアとしての価値増大

##### ① ニュースサイト「ORIGINAL CONFIDENCE」の新設

成長著しいニュースページを独立させてニュースサイト「ORIGINAL CONFIDENCE」を新設するべく、当第1四半期においてページ制作およびシステム関連の準備を進め、平成18年7月28日にサイトとして開設しました。ランキングを切り口とし、「今、何が流行っているか」「何に関心が集まっているか」を情報発信するサイトとして拡充させる一方、WEB「ORICON STYLE」をエンタテインメント系コンテンツに特化したサイトとする差別化、特徴付けを行いました。これによって、エンタテインメントとニュースという二つのジャンルを展開することが可能となり、より幅広い広告クライアントのニーズに応えられるようになりました。

##### ② コンテンツ連動型広告

ニュースサイト「ORIGINAL CONFIDENCE」開設と同時に、「きれいになりたい」「キャリアアップしたい」「スキルアップしたい」「結婚したい」といったインターネット上でユーザーが求める目的別のカテゴリーを新設しました。これによって広告と情報内容の最適化を図り、コンテンツ連動型広告が可能になりました。当第1四半期においては、新カテゴリーのページ制作およびシステム関連の準備を進めました。

##### ③ 顧客満足度（CS）ランキング連動型広告

ランキングブランドである「オリコン」ブランドを活かしたユニークなアフィリエイト型広告事業を開始するための基盤作りを当第1四半期において行いました。当広告モデルでは、まず、身の回りにある様々なサービスについて、独自のユーザー調査を数万人規模で敢行して顧客満足度（CS）に基づいたランキングを発表します。そして、ランクインした各事業者サイトへ興味・関心のあるユーザーを誘導することによって、クリック毎に各事業者より数百円のアフィリエイト

ト収入を得ます。当広告モデルは、検索結果に連動して企業群を表示してクライアントサイトへのユーザー誘導をアフィリエイト収入とする旧来の検索連動型広告と同じ考え方に基づいていますが、CSランキングを経由することで「信頼」「安心」といった付加価値が生まれますので、検索連動型広告を発展・進化させたものとして広告業界から注目されています。

当広告事業を本格的に開始するべく、当第1四半期においては第一弾として、「エステティックサロン」「人材派遣会社」「英会話スクール」「結婚情報サービス会社」の4ジャンルについて調査を行い、平成18年8月2日に調査結果を発表しました。WEB「ORIGINAL CONFIDENCE」内に新設した上述の目的別カテゴリーにおいてこれらのCSランキングを紹介し、9月よりアフィリエイト契約を締結した各事業者サイトへのユーザーの誘導を開始します。

#### ④ アドサーバーの導入

インプレッションを効率良くバナー等の広告商品の販売に結びつけるとともに、上述のコンテンツ連動型広告を実践するため、アドサーバーを導入するための準備を当第1四半期に行いました。システム部員を増員し、提携先との交渉を進め、平成18年10月より稼働できるようになりました。

### 2. 携帯電話向け一般サイト「ORICON STYLE mobile」の開設

WEB「ORICON STYLE」で提供している様々な付加価値の高い情報を携帯電話においても手軽にご利用いただくため、広告売上を収入の柱とする一般サイト「ORICON STYLE mobile」を平成18年4月20日に開設しました。また、このサイトを「携帯電話におけるデジタル音楽ポータルサイト」として拡充させ、最新のオリコンランキングにランクインするような楽曲の着うた<sup>®</sup>・着うたフル<sup>®</sup>での配信情報を集約し、かつ利便性の高い検索機能を持たせるようにします。これによって、サイト来訪者を各配信サイトへ誘導することで配信サイト運営者より収入を得るアフィリエイトビジネスが可能となりますので、当第1四半期にシステム面の準備を進め、平成18年9月より運用できるようになりました。

### 3. 着うたフル<sup>®</sup>サービスの開始

平成18年6月7日にNTTドコモが着うたフル<sup>®</sup>を公式メニュー化すると同時に「オリコンスタイルフル」サイトを新設し、着うたフル<sup>®</sup>対応機種向けに配信を開始しました。さらに7月3日よりvodafoneで、8月3日よりKDDIでそれぞれ着うたフル<sup>®</sup>サービスを開始しました。当第1四半期においては、これらのサイトのページ制作並びにシステム関連の準備を進めました。

当第1四半期の事業の種類別セグメント状況は次のとおりであります。

#### (ア) データベース事業

インターネットによる音楽マーケティングデータの有料提供サービス「真大樹」の会員数増を主な要因として、当第1四半期における売上高は、前年同期比18.9%増の122,013千円、売上高構成比は9.0%となりました。

#### (イ) メディア事業

##### 1) 音楽ディストリビューション

携帯電話向け着信メロディサイト「オリコンサウンド」の有料会員数は、下げ止まりつつあるものの、当第1四半期においても前年同期と比較して減少しました。一方、着うた<sup>®</sup>およびPC向け音楽配信の売上が増加しているものの、これらが着信メロディサイトの会員減による売上減少分を補えず、当第1四半期における売上高は、前年同期比19.3%減の374,853千円となりました。

##### 2) 雑誌・情報

音楽系雑誌については、雑誌実売、広告販売ともに堅調に推移しましたが、前年同期にORANGE RANGEの単行本を重版して売上を伸ばしたのに対し、当第1四半期に書籍のヒットが発生しなかったことを主な要因として、当第1四半期における売上高は、前年同期比35.6%減の370,838千

円となりました。

### 3) WEB

WEB「ORICON STYLE」の広告売上が伸び、当第1四半期における売上高は、前年同期比19.5%増の244,593千円となりました。なお、前第2四半期から第4四半期においては海外法人向けWEB用コンテンツ開発提供が発生していましたが、平成18年3月期末で契約解除になっております。

以上の結果、メディア事業全体の当第1四半期における売上高は、前年同期比20.5%減の990,284千円、売上高構成比は72.6%となりました。

### (ウ) フランクリン・ミント事業

コイン等のコレクションアイテムを一層充実させるなど商品ラインナップを強化し、さらにダイレクトマーケティングを効果的に行った他、WEB「ORICON STYLE」と連動したWEBサイトでの販売も伸展したことで売上が堅調に推移し、当第1四半期における売上高は251,373千円、売上高構成比は18.4%となりました。

### (連結損益計算書項目)

#### ア. 売上高

携帯電話向け着信メロディの売上が減少し、さらに書籍のヒット不在によって雑誌・書籍の売上も減少したものの、WEB「ORICON STYLE」の広告売上およびフランクリン・ミント事業の売上が補い、当第1四半期における連結売上高は、前年同期比1.2%増の1,363,671千円となりました。

#### イ. 営業利益

当第1四半期においては、営業損失を28,436千円計上しました。主な理由は、収益基盤の構築を行うために、以下の先行投資並びにコストが利益を圧迫したためです。

##### ① WEB事業への投資の拡大

- ・WEB「ORICON STYLE」のコンテンツ拡充
- ・WEB「ORIGINAL CONFIDENCE」の開設並びに目的別カテゴリーの新設
- ・CSランキングを構築するための準備並びにアンケート調査の実施
- ・WEB広告営業の体制強化のための要員採用

##### ② 携帯電話向け一般サイト開設に伴うコスト

- ③ 着うたフル<sup>®</sup>サービスを開始する上でのサイト制作及びシステム関連コストの発生
- ④ PC向け音楽配信への投資の継続
- ⑤ オリコン40周年記念表彰式の開催に関わるコスト

また、前年同期と比較し、利益率の高い携帯電話向け着信メロディや書籍の重版等の売上が減少し、それを利益率の低いフランクリン・ミント事業の売上が補ったため、全体として利益が押し下げられる結果となりました。

#### ウ. 経常利益

前年同期と比べ、株式関連費を10,496千円削減できましたが、営業利益と同じ事由により、経常損失を39,490千円計上しました。

#### エ. 四半期純利益

当四半期において、84,702千円の純損失を計上しました。当社グループの子会社には、立ち上げて間もない会社が多く、それらの中には未だ収益をあげる段階に到っていないために税効果会計を適用できない会社があり、グループ全体として税コストが高んでいます。

## (3) 財政状態（連結）の変動状況

(千円未満切捨て)

	総資産 千円	純資産 千円	自己資本比率 %	1株当たり 純資産 円 銭
19年3月期第1四半期	5,444,624	1,690,331	30.2	10,520 22
18年3月期第1四半期	5,076,844	1,534,868	30.2	9,882 23
(参考) 18年3月期	5,226,472	1,775,498	34.0	11,353 89

(注) 1. 期末発行済株式数(連結) 平成19年3月期第1四半期 156,140株 平成18年3月期第1四半期 155,316株  
平成18年3月期 156,378株

## [財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は5,444,624千円となり、前連結会計年度末と比べ218,151千円増加しました。負債合計は3,754,292千円となり、前連結会計年度末と比べ361,430千円増加し、一方、純資産合計は1,690,331千円となり、前連結会計年度末と比べ85,166千円減少いたしました。その結果、当第1四半期末の自己資本比率は30.2%となり、前連結会計年度末と比べ3.8ポイント減少いたしました。

流動資産は2,392,516千円となり、前連結会計年度末比305,249千円減少いたしました。これは投資有価証券の取得等による現金および預金の減少が主な要因であります。

有形固定資産および無形固定資産については、前連結会計年度末と比べて大きな変動はありませんが、投資有価証券の取得等によって、固定資産合計では前連結会計年度末比523,401千円増の3,052,108千円となりました。

流動負債は2,657,828千円となり、前連結会計年度末比654,965千円増加いたしました。主として短期借入金が前連結会計年度末比633,640千円増加したことによるものであります。固定負債は1,096,464千円となり、前連結会計年度末比293,535千円減少いたしました。主として長期借入金が前連結会計年度末比295,000千円減少したことによるものであります。

株主資本合計は1,592,877千円となり、前連結会計年度末比141,280千円減少いたしました。主として利益剰余金が112,068千円減少したことによるものであります。

## (参考1)

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高 千円	経常利益 千円	当期純利益 千円
通 期	7,440,000	650,000	420,000

## [業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期においては、経常損失および四半期損失を計上しましたが、当社グループの各事業は計画通りに推移しており、今後の展開として、

- 平成18年6月時点でユニークユーザー数が700万人となったWEB「ORICON STYLE」が、コンテンツの拡充、SEO対策等によってさらに成長を続け、収益の源泉となるユニークユーザー数並びにページビューが増加している。
- CSランキング連動型広告のアフィリエイトを、すでにランキングを発表した4ジャンルについては9月より開始する。さらに当第3四半期中に第二段として、「人材紹介サービス」「引越し」「自動車保険」「クレジットカード」「PCスクール」「審美歯科」等のジャンルを開始する。
- 10月よりアドサーバーを導入するため、インプレッションに応じて効率良くバナーなどのインプレッション型広告を販売できるようになり、さらに、コンテンツ内容と広告とを最適化するコンテンツ連動型広告の販売が本格化する。
- 携帯電話向け一般サイト「ORICON STYLE mobile」で、着うた<sup>®</sup>・着うたフル<sup>®</sup>のアフィリエイトビジネスを9月より開始する。
- NTTドコモの着うたフル<sup>®</sup>対応機種が今秋より大幅に増えることで、サービスが本格化する。

等を通期の見通しとしていることから、平成18年5月23日に開示した通期の業績予想に変更はありません。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

(参考2)

平成19年3月期第1四半期業績の概況(個別)(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

経営成績(個別)の進捗状況

(千円未満切捨て)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
19年3月期第1四半期	146,768	△40.5	9,772	△65.8	4,381	△47.6	△700	—
18年3月期第1四半期	246,633	2.9	28,589	△34.9	8,362	△79.9	1,483	△93.3
(参考)18年3月期	813,403		79,446		76,345		17,190	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	△4	48	—	—
18年3月期第1四半期	9	55	9	32
(参考)18年3月期	110	33	107	98

(注)1. 期中平均株式数 平成19年3月期第1四半期 155,329株 平成18年3月期第1四半期 155,292株  
平成18年3月期 155,803株

- 平成19年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。
- 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
- 平成17年10月1日付をもってデータベース事業が会社分割の方法により分割され、新たに設立されたオリコン・マーケティング・プロモーション(株)(当社100%子会社)に承継されたため、平成18年3月期第3四半期より当社は純粋持株会社に移行しました。

### 3. 連結財務諸表等

#### (1) 四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日)		前第1四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金	442,443		861,108		960,937	
2. 受取手形及び売掛金	1,355,324		1,441,345		1,381,029	
3. 有価証券	141,208		20,005		20,006	
4. たな卸資産	241,102		129,973		189,751	
5. その他	266,542		216,374		201,778	
6. 貸倒引当金	△54,104		△61,636		△55,737	
流動資産合計	2,392,516	43.9	2,607,170	51.3	2,697,766	51.6
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	36,920		120,887		37,158	
減価償却累計額	10,521	26,399	53,057	67,830	9,957	27,200
(2) 車両運搬具	10,900		13,852		10,794	
減価償却累計額	7,000	3,900	7,481	6,371	6,723	4,070
(3) 工具、器具及び備品	754,568		637,353		723,423	
減価償却累計額	544,982	209,586	409,775	227,578	515,814	207,608
(4) 土地		890		29,927		890
(5) 建設仮勘定		11,908		—		—
有形固定資産合計	252,684	4.7	331,707	6.6	239,770	4.6
2. 無形固定資産						
(1) 営業権	92,250		—		98,400	
(2) ソフトウェア	508,653		394,327		504,864	
(3) 連結調整勘定	424,054		387,444		431,548	
(4) その他	3,209		122,109		3,209	
無形固定資産合計	1,028,167	18.9	903,881	17.8	1,038,022	19.9
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	784,155		324,531		297,165	
(2) 繰延税金資産	241,880		315,512		256,443	
(3) 長期前払費用	356,890		259,056		309,143	
(4) その他	425,146		367,825		424,977	
(5) 貸倒引当金	△36,816		△36,816		△36,816	
投資その他の資産合計	1,771,256	32.5	1,230,110	24.2	1,250,913	23.9
固定資産合計	3,052,108	56.1	2,465,699	48.6	2,528,706	48.4
III 繰延資産						
1. 社債発行費	—		3,975		—	
繰延資産合計	—	—	3,975	0.1	—	—
資産合計	5,444,624	100.0	5,076,844	100.0	5,226,472	100.0

区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日)		前第1四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	307,146		341,788		312,051	
2. 短期借入金	1,717,680		1,212,200		1,084,040	
3. 返品調整引当金	50,977		62,336		59,591	
4. その他	582,025		540,892		547,179	
流動負債合計	2,657,828	48.8	2,157,217	42.5	2,002,862	38.3
II 固定負債						
1. 社債	600,000		600,000		600,000	
2. 長期借入金	495,000		675,000		790,000	
3. 退職給付引当金	1,464		11,421		—	
4. その他	—		8,243		—	
固定負債合計	1,096,464	20.2	1,294,665	25.5	1,390,000	26.6
負債合計	3,754,292	69.0	3,451,882	68.0	3,392,862	64.9



区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日)		前第1四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(少数株主持分)						
少数株主持分	—	—	90,093	1.8	58,111	1.1
(資本の部)						
I 資本金	—	—	1,066,222	21.0	1,074,644	20.6
II 資本剰余金	—	—	921,621	18.1	930,043	17.8
III 利益剰余金	—	—	△369,138	△7.3	△142,555	△2.7
IV その他有価証券評価 差額金	—	—	33,871	0.7	1,423	0.0
V 為替換算調整勘定	—	—	10,266	0.2	39,917	0.8
VI 自己株式	—	—	△127,975	△2.5	△127,975	△2.5
資本合計	—	—	1,534,868	30.2	1,775,498	34.0
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	5,076,844	100.0	5,226,472	100.0
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	1,074,977	19.7	—	—	—	—
2. 資本剰余金	930,376	17.1	—	—	—	—
3. 利益剰余金	△254,623	△4.7	—	—	—	—
4. 自己株式	△157,853	△2.9	—	—	—	—
株主資本合計	1,592,877	29.2	—	—	—	—
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価 差額金	936	0.0	—	—	—	—
2. 為替換算調整勘定	48,813	0.9	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	49,750	0.9	—	—	—	—
III 少数株主持分	47,704	0.9	—	—	—	—
純資産合計	1,690,331	31.0	—	—	—	—
負債、純資産合計	5,444,624	100.0	—	—	—	—

## (2) 四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		前第1四半期連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)				
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)			
I 売上高		1,363,671	100.0		1,347,913	100.0		5,693,662	100.0
II 売上原価		848,334	62.2		746,242	55.4		3,263,516	57.3
売上総利益		515,337	37.8		601,671	44.6		2,430,145	42.7
返品調整引当金戻入額		59,591	4.3		63,881	4.8		63,881	1.1
返品調整引当金繰入額		50,977	3.7		62,336	4.6		59,591	1.0
差引売上総利益		523,951	38.4		603,216	44.8		2,434,435	42.8
III 販売費及び一般管理費									
1. 広告宣伝費	131,189			—			270,837		
2. 給与手当	132,474			124,115			485,122		
3. その他	288,723	552,387	40.5	336,581	460,696	34.2	1,066,177	1,822,137	32.0
営業利益		△28,436	△2.1		142,520	10.6		612,298	10.8
IV 営業外収益									
1. 受取利息	289			106			1,863		
2. 投資有価証券売却益	—			—			57,547		
3. その他	2,053	2,343	0.2	2,227	2,333	0.2	8,904	68,315	1.2
V 営業外費用									
1. 支払利息	7,731			7,298			34,628		
2. 株式関連費	5,183			15,679			41,646		
3. その他	482	13,397	1.0	4,682	27,660	2.1	14,134	90,409	1.6
経常利益		△39,490	△2.9		117,193	8.7		590,204	10.4

区分	当第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)			前第1四半期連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)			前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		
	金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)
VI 特別利益									
1. 貸倒引当金戻入益	2,028	2,028	0.2	—	—		—	—	
VII 特別損失									
1. 固定資産売却損	—			—			21,539		
2. 固定資産除却損	95			10,445			13,304		
3. 投資有価証券評価損	—			—			26,509		
4. その他	—	95	0.0	—	10,445	0.8	6,536	67,890	1.2
税金等調整前四半期 (当期) 純利益		△37,556	△2.7		106,747	7.9		522,313	9.2
法人税、住民税 及び事業税		47,552	3.5		74,610	5.5		249,871	4.4
少数株主損失		407	0.0		5,986	0.4		386	0.0
四半期(当期)純利益		△84,702	△6.2		38,124	2.8		272,828	4.8

(注) 第1四半期会計期間における税金費用については、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	1,074,644	930,043	△142,555	△127,975	1,734,157	1,423	39,917	41,341	58,111	1,833,610
当四半期変動額										
新株の発行	333	333			666					666
剰余金の配当			△27,366		△27,366					△27,366
四半期純利益			△84,702		△84,702					△84,702
自己株式の取得				△29,878	△29,878					△29,878
株主資本以外の 項目の当四半期 の変動額（純額）						△486	8,896	8,409	△10,407	△1,998
当四半期変動額 合計	333	333	△112,068	△29,878	△141,280	△486	8,896	8,409	△10,407	△143,278
平成 18 年 6 月 30 日残高	1,074,977	930,376	△254,623	△157,853	1,592,877	936	48,813	49,750	47,704	1,690,331

## (参考) 財務諸表等

## (1) 四半期貸借対照表

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		前第1四半期会計期間末 (平成17年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金	149,597		309,151		186,725	
2. 売掛金	—		198,820		—	
3. 貯蔵品	—		1,838		—	
4. 未収入金	339,636		325,616		215,258	
5. 短期貸付金	1,116,279		869,907		1,031,279	
6. その他	49,346		74,307		52,457	
7. 貸倒引当金	△18,049		△944		△18,048	
流動資産合計	1,636,810	37.9	1,778,698	48.6	1,467,672	38.3
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物	34,174		33,763		34,174	
減価償却累計額	10,077	24,097	7,813	25,949	9,567	24,607
(2) 車両運搬具	8,103		8,103		8,103	
減価償却累計額	6,627	1,475	5,935	2,167	6,499	1,603
(3) 工具、器具及び備品	217,033		222,735		214,033	
減価償却累計額	159,825	57,207	159,831	62,904	155,113	58,919
(4) 土地	890		890		890	
(5) 建設仮勘定	11,908		—		—	
有形固定資産合計	95,579	2.2	91,911	2.5	86,020	2.2
2. 無形固定資産						
(1) ソフトウェア	24,174		98,529		28,789	
(2) 電話加入権	1,224		1,224		1,224	
無形固定資産合計	25,398	0.6	99,753	2.7	30,013	0.8
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	568,921		297,024		257,742	
(2) 関係会社株式	1,720,918		1,147,471		1,720,918	
(3) その他	302,480		280,337		308,902	
(4) 貸倒引当金	△36,816		△36,816		△36,816	
投資その他の資産合計	2,555,504	59.3	1,688,017	46.1	2,250,747	58.7
固定資産合計	2,676,483	62.1	1,879,681	51.3	2,366,782	61.7
III 繰延資産						
1. 社債発行費	—		3,975		—	
繰延資産合計	—	—	3,975	0.1	—	—
資産合計	4,313,293	100.0	3,662,355	100.0	3,834,454	100.0

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		前第1四半期会計期間末 (平成17年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 買掛金	—		8,988		—	
2. 短期借入金	800,000		700,000		416,800	
3. 1年以内返済長期借入金	388,000		60,000		144,000	
4. 預り金	370,172		17,190		204,066	
5. その他	88,724		86,109		65,426	
流動負債合計	1,646,896	38.2	872,288	23.8	830,292	21.7
II 固定負債						
1. 社債	600,000		600,000		600,000	
2. 長期借入金	45,000		105,000		325,000	
3. その他	—		7,525		—	
固定負債合計	645,000	14.9	712,525	19.5	925,000	24.1
負債合計	2,291,896	53.1	1,584,814	43.3	1,755,292	45.8

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		前第1四半期会計期間末 (平成17年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資本の部)						
I 資本金	—	—	1,066,222	29.1	1,074,644	28.0
II 資本剰余金						
1. 資本準備金	—	—	325,013	—	333,435	—
2. その他資本剰余金	—	—	600,000	—	600,000	—
資本剰余金合計	—	—	925,013	25.2	933,435	24.3
III 利益剰余金						
1. 四半期(当期)未処分利益	—	—	181,926	—	197,633	—
利益剰余金合計	—	—	181,926	5.0	197,633	5.2
IV その他有価証券評価差額金	—	—	32,353	0.9	1,423	0.0
V 自己株式	—	—	△127,975	△3.5	△127,975	△3.3
資本合計	—	—	2,077,540	56.7	2,079,162	54.2
負債・資本合計		—	3,662,355	100.0	3,834,454	100.0
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	1,074,977	24.9	—	—	—	—
2. 資本剰余金						
資本準備金	333,768	—	—	—	—	—
その他資本剰余金	600,000	—	—	—	—	—
資本剰余金合計	933,768	21.7	—	—	—	—
3. 利益剰余金						
四半期(当期)未処分利益	169,567	—	—	—	—	—
利益剰余金合計	169,567	3.9	—	—	—	—
4. 自己株式	△157,853	△3.6	—	—	—	—
株主資本合計	2,020,460	46.9	—	—	—	—
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	936	—	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	936	0.0	—	—	—	—
純資産合計	2,021,397	46.9	—	—	—	—
負債・純資産合計	4,313,293	100.0	—	—	—	—

## (2) 四半期損益計算書

区分	当第1四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)			前第1四半期会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)			前事業年度の要約損益計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		
	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
I 営業収益									
売上高	—			246,633			517,075		
事業会社運営収入	146,768	146,768	100.0	—	246,633	100.0	296,327	813,403	100.0
II 売上原価		—	—		69,027	28.0		172,685	21.2
売上総利益		146,768	100.0		177,606	72.0		640,717	78.8
III 販売費及び一般管理費		136,995	93.3		149,016	60.4		561,270	69.0
営業利益		9,772	6.7		28,589	11.6		79,446	9.8
IV 営業外収益									
1. 受取利息	4,330			696			9,890		
2. 投資有価証券売却益	—			—			52,785		
3. その他	479	4,809	3.3	190	886	0.4	2,901	65,578	8.0
V 営業外費用									
1. 支払利息	3,089			1,932			11,286		
2. 社債利息	1,928			1,832			7,371		
3. 株式関連費	5,183			15,679			41,299		
4. その他	—	10,200	7.0	1,670	21,114	8.6	8,721	68,678	8.4
経常利益		4,381	3.0		8,362	3.4		76,345	9.4
VI 特別利益									
1. 貸倒引当金戻入益	—	—	—	331	331	0.1	—	—	—
VII 特別損失									
1. 固定資産除却損	—			1,047			501		
2. その他	—	—	—	—	1,047	0.4	34,748	35,250	4.3
税引前四半期(当期) 純利益		4,381	3.0		7,645	3.1		41,094	5.1
法人税、住民税 及び事業税		5,081	3.5		6,162	2.5		23,904	3.0
四半期(当期)純利益		△700	△0.5		1,483	0.6		17,190	2.1

(注) 第1四半期会計期間における税金費用については、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。